

「平成30年学校教育学部同窓会総会・研修会」を開催

平成30年1月6日（土）に、神戸ハーバーランドキャンパスにおいて、恒例の同窓会総会ならびに研修会が開催されました。1月初旬開催がすっかり定着してきた本会に、今年は50名の卒業生、並びに大学からは福田光完学長をはじめ大学関係者7名の参加がありました。



総会は、筒井幸介幹事長〔25期〕の司会進行で始まり、冒頭で大石学会長〔10期〕から開会挨拶がありました。続いて、勝谷実嗣さん〔21期〕が議長として選出され、以下の議案について審議がなされました。

1号議案「平成29年事業報告」

2号議案「平成29年会計決算報告及び監査報告」

3号議案「平成30年事業計画（案）」

4号議案「平成30年会計予算（案）」

これらすべての議案が拍手をもって、原案通り承認されました。最後に、森田庶務〔1期〕から報告事項として、30年度が大学設置40周年であること、さらに31年度から「新たな学部組織とカリキュラム」になることが、大学を巡る状況として情報提供されました。



研修会では、第一部として、本学グローバル化推進教育リーダーコースのグレイディ・クレア先生による「小学校における英語教育 -今、そしてこれから-」と題する講演が行われました。講演は、先生ご自身の学校現場でのALTとしてのご経験をもとに、発達段階に沿った英語教育の進め方や日々の授業における現状と課題等についてのお話でした。日本にいられてから



の様々な戸惑いエピソードに笑いを交えての、時間を感じさせない素敵なお話でした。なかでも印象的だったのは、『言語は書くものではない。話すもの。』、そして、日本に新たな英語教育が導入されていくのは『大変（大きく変わるから）だけど、慣れたら大丈夫！』『先生が楽しくなれば、子どもも楽しくなる』と、我々にエールと勇気を与えてくれたところでした。

続いて第二部として、泊翔介幹事長〔28 期〕の司会により、クレア先生、猪名川町教育委員会の乾和典指導主事、猪名川町立松尾台小学校の鈴木裕治校長〔1 期〕の対談が行われました。英語教育における学級担任のあり方や授業の進め方、ALT とどのように TT を進めるか等について、幅広く意見交換がなされました。本学と猪名川町は英語教育推進に関する連携協定を結んでおり、その一環でクレア先生も小学校や先生方の指導に行かれています。和やかな対談の雰囲気の中にも試行錯誤している現場の状況をよく理解することができました。鈴木校長は『大変だという現場の雰囲気をどう払拭するかがポイントだ』と言われていました。また、参加者からも次々と質問



が出る等、このテーマについての関心の高さを伺わせるとともに、これからの授業に役立つ熱のこもった研修会となりました。今回、初めての形式（講演と対談）での研修会でしたが、終わった時のフロア参加者の充実した顔を見ると、良い企画だったなあと執行部役員一同が感じたところです。



最後に、福田学長が研修会のまとめとともに閉会挨拶を行い、総会・研修会の締めくくりとなりました。その後、参加者全員での記念写真撮影が行われ、久しぶりに顔を合わせた旧友、そして新たにつながった同窓生が、福田学長、福本副学長、名須川副学長、小熊事務局長とともに一緒に写真におさまりました。さらに、研修会後の懇話会では、大学の教職員と年代を越えた同窓会員が

和気あいあいの内に親睦を深めました。

